

「ジュニアボランティアスクール」に参加して
平成28年8月16日(火)～18日(木)実施

今回、3日間にわたるジュニアボランティアスクールに参加して、子どもたちと一緒に、たくさん学ぶことができたと感じました。特に、福岡市民防災センターや福岡市博物館では楽しさを交えながら災害や防災について学習しました。3日間で、子どもたちの成長も感じられ、次も参加したいと思える体験でした。

西南学院大学 3年 田村 拓也さん

3日間と短い期間でしたが、ジュニアボランティアスクールに参加させていただき、子どもたちをどうやってまとめるかを考えさせられる貴重な体験ができました。少しそわそわしていた子がしっかり講義をうけ、施設での体験では、自ら進んでやっている姿が見え、子どもたちの成長をみることもできました。

筑紫女学園大学 3年 井手 里美さん

今回、ジュニアボランティアスクールに参加させていただき、3日間子どもたちと楽しく学習することができました。最初は緊張していた子どもたちも、気づけばみんな元気に自分の考えを言えるようになり驚きました。私自身、子どもたちから学ぶことも多く、貴重な体験をさせていただいたと感じています。楽しい3日間でした。

西南学院大学 3年 佐藤 風沙さん



こども福祉員ピッコラ誕生!

ボランティアセンターからのお知らせ

募集中のボランティア

こども見守りボランティア募集

就学前の子どもたちの見守り活動です

日時:10月6日(木)、10月13日(木)

11月10日(木)、11月17日(木)

11月28日(月)、12月8日(木)

いずれも9:50～12:00まで

場所:メイトム宗像内

申込み・問い合わせは同センターまで

V-net 登録済みのみなさんへ

登録の内容に変更はありませんか?変更があった場合は、速やかに当センターまでお知らせください。

活動紹介や活動報告、写真などホームページ、掲示板に掲載することもできますので、ぜひ活用してください。

【ボラセンだより 平成28年度 Vol.1 2016年10月1日発行】

宗像市社会福祉協議会 宗像市ボランティアセンター

宗像市久原180メイトム1階

Tel 0940(37)4100

Fax 0940(37)4101

E-mail v-net@syakyo.munakata.com

ホームページ <http://kouryuukan.com/v-net>



ボラセンだより

平成28年度 Vol.1

もくじ

【表紙】

*「ボランティア入門講座」参加者募集!

*すごい

ボランティアさん紹介
～宗像市スポーツボランティアクラブ
河辺嘉彦さん～

【中面】

*ボランティア活動紹介

・松田 次生さん
・日高 なつみさん
・ひよっこ楽座
「アンディアーモ」

*ボランティア

依頼者の声

・すこやか
ライフサポーター

*ボランティア

募集のお知らせ

【裏表紙】

*「ジュニアボランティアスクール」に参加して

*ボランティアセンター

からのお知らせ

・募集中のボランティア
・V-net 登録済みのみなさんへ

*発行者・メイトム地図

わたしたちができるコト、まずは知るトコから 参加者募集!

平成28年度 ボランティア入門講座

日時 11月24日(木)

9:15～12:15

会場: 受付9:00から
メイトム宗像 202 会議室

参加費: 300円

定員: 20人(先着)

いつくるかわからない災害、自分にも何かできることはないだろうかと考えている人も多いはず。そんないざという時のため、被災地支援のため『防災』『災害ボランティア』について学んでみませんか?「災害ボランティアってどんな感じか知りたい」「ボランティア活動をする前にまずは基本的な事を教えてほしい」そんな人におすすめの講座です。

ぜひ参加してください。

申し込みの際は、名前・年代・連絡先をお知らせください

プログラム1 「防災学習」9:30～

講師: 福岡県社会福祉協議会

プログラム2

「被災地での災害ボランティア活動」

10:50～・現地活動報告
(被災者への配慮、ボランティアとしての心構え、自己管理など)

参加者全員に
防災グッズ
をプレゼント
呼び笛



公益社団法人 宗像青年会議所 地域創造委員長

講師 池尾 拓さん

すごいボランティアさん紹介

かわべ よしひこ

「宗像市スポーツボランティアクラブ」河辺嘉彦さん

河辺さんは平成28年5月に開催された全国障害者スポーツ大会の福岡県大会フライングディスク「ディスリート7」の部でみごと優勝しました。フライングディスクの「ディスリート7」という種目は、標的の輪をめがけて10回連続ディスクを投げ、通過した回数を競う競技です。河辺さんは福岡県の代表選手として10月に岩手県で開催する全国大会に出場します。

「日本一を目指してがんばります」と笑顔で意気込みを語ってくれました。

河辺さんが代表をつとめる宗像市スポーツボランティアクラブでは障がいのある人もそうでない人も、自分にできるスポーツと一緒に汗を流して楽しむ事を目標に、毎週水曜日に宗像市勤労者体育センターでバウンドテニスをしています。一緒に活動したいメンバーも大募集中です。

問い合わせはボランティアセンターへ



個人・団体ボランティア活動紹介♪



各団体、個人へのボランティアに関する問い合わせは
宗像市ボランティアセンターへ 37-4100



ひよっこ楽座『アンディアーモ』(上演ボランティア)

ひよっこ楽座「アンディアーモ」は、老人ホームや福祉施設の慰問活動で「笑い」と「元気」を届けるボランティア活動を目指し、平成21年5月に発足しました。宗像市福祉ボランティア連絡協議会にも所属し、他団体とのコラボレーションし、幅広く活動を展開しています。

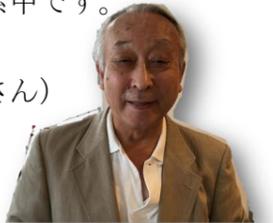
宮崎県日向市の無形民俗文化財に指定されている「ひよっこ踊り」をメインに、楽器演奏、歌謡、踊りなどを交えて上演します。

相互に笑い、エンジョイできるように依頼先のニーズに合わせた演奏を心がけています。

現在団員は11人です。毎週金曜日にメイトム宗像で18時から21時まで楽器練習や歌謡練習、踊りの練習をしています。メンバーは60～70代がほとんどで、若返りも模索中です。

一緒に楽しく楽器演奏してくれるボランティア仲間を大募集中です。

(ひよっこ楽座「アンディアーモ」^{みはらとみお}三原富雄さん)



ひょうが “日向ひよっこ踊りの物語”

昔、「ひょう助」と「おかめ」という夫婦が住んでいました。なかなか子どものできない二人は、毎朝、稲荷神社に豆飯を供えて子宝に恵まれるよう祈願をしていました。ある朝、いつもと同じように二人がお祈りをしていると、あまりにも空腹だった神主が、お供え物の豆飯を見て、つい、つまみ食いをしてしまいました。

それを見て怒ったお稲荷様が、きつねの姿となって現れたものの、傍らにいた美しいおかめに目を奪われてしまいます。そして、おかめの気を惹こうと手招きをしながら踊り始めます。それを見ていたおかめがつられて踊りだし、心配そうに見ていたひょう助と、この様子をそっと木陰でうかがっていた村の若者たちもつられて一緒に踊りだしてしまいました。踊りのあと、境内が汚れたので、残った1人の青年が竹ぼうきを持って踊りながら掃き清め、みんなの後をついていきました。

『日向民話』より

福岡県障害者リハビリテーションセンター ボランティア大募集！

福岡県障害者リハビリテーションセンターでは、新しい訓練プログラム導入にともない、趣味や特技をいかして、協力して下さるボランティアさんを大募集しています。ボランティア活動の経験は問いません。興味のある方、利用者と一緒に楽しく時間をすごせます。

迷われている人は、まずは福岡県障害者リハビリテーションセンターへ問い合わせてください。

- | | | | | |
|----|-------------------|---------------------------------|--------------------------|-------|
| 内容 | ■ ヨガ・エアロビクス | ■ スポーツ (卓球・風船バレー・ダーツ) | ■ 園芸 | ■ プール |
| | ■ 写真 (撮影・編集) | ■ インテリア (作品展示・壁の模様替え・グッズ制作) | | |
| | ■ D I Y (棚制作・塗装等) | ■ 釣り | ■ 音楽 (カラオケ・楽器演奏・唱歌・音楽鑑賞) | |
| | ■ 旅行 (計画・立案・同行) | ■ ゲーム (囲碁・オセロ・クロスワードパズル・ナンプレなど) | | |

問い合わせ先

福岡県障害者リハビリテーションセンター

TEL 092-944-1041 (担当：城戸)

〒811-3113 古賀市千鳥 3-1-1

FAX 092-944-0051

ご家庭に眠っている室内ゲームなどがございましたら寄贈してください

私の妻は、お年寄りのお世話がしたいとホームヘルパーの仕事をしていました。その妻が3年半前に突然の病で亡くなりました。その時をきっかけに、私でも何か役に立つ事が出来ないかと思い、当時勤めていた会社が企画するボランティアへ参加する様になった事が活動のきっかけです。

2年ほど前に、スペシャルオリンピックス(知的障がい者のスポーツ大会)の運営のお手伝いをさせていただいた事があります。参加者の障がいのある人々が、一生懸命・明るく・楽しくスポーツをされている姿を見て感動し、励まされました。ボランティア活動をやっている良かったですし、やりがいを感じました。



まつだ つぎお
松田 次生さん

(子ども支援ボランティア)

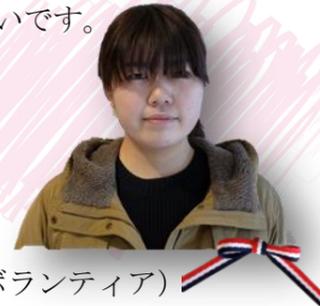
ボランティアは「する」のではなく「させていただく」という気持ちで活動しています。それと、自分の身の丈に合った活動をしたいと常に思っています。

末永くボランティア活動を続ける為には、自分自身が心身に健康である事が大事だと考えていますので、これからも食事・運動・睡眠等に気を使い、健全な心身が維持できるような生活を送りたいと思います。

先輩に誘われたのをきっかけに、自分の将来の夢のためにも良い経験になると考え、ボランティアをはじめました。初めは何もわからない状態でしたが、とりあえず行動してみようという気持ちでした。

ボランティア活動は、自分のやる事がその相手に対して押し付けになってもいけないし、自分勝手にやるものであっていけないと思います。特に、被災地での活動は、その場所、そこにいる方々のことを一番考えて寄り添うような活動になるよう心がけています。「ありがとう」という言葉をかけていただいたときはとても嬉しいです。

活動を通じて仲間が増えることもやりがいの1つです。同じような考えをもって集まった仲間たちと過ごす時間は自分のやる気にもつながります。また、離れた土地でがんばる仲間の存在は、ボランティア以外の面でも強い支えになります。これからもボランティアを続けていこうと思っています。



ひだか
日高 なつみさん (子ども支援ボランティア)

ボランティア依頼者の声 ～すこやかライフサポーター～

すこやかライフサポーターは、未就園児の母親を対象とした、バランスボール・ヨガ・ピラティスなどのエクササイズ講座とアロマとハーブの講座を開催している市民活動団体です。親子連れの講座なので、ボランティアさんにはお子さんの見守りなど、私たちスタッフの手が足りないところをお手伝いいただいています。

男女問わず、幅広い年齢層の方がお手伝いに来てくださって、子ども支援ボランティアの皆さんは私たちの活動になくてはならない存在です。泣きそうな赤ちゃんをやさしく抱っこしたり、2～3歳のお子さんにはおもちゃで遊んでくれたり、色々な配慮で助けてくださり、本当に感謝です。

講座に参加するお母さんがリフレッシュし笑顔でいると、子どもたちも幸せで、子育て支援にもつながっています。おかげさまで、毎回素敵なボランティアさんに集まっていたいただき、安定した活動ができています。

(すこやかライフサポーター 中條 みちこさん)



すこやかライフサポーター
ちゅうじょう
中條 みちこさん